

御意見の概要とそれに対する本市の考え方について

(参考) 区分について

- A 答申案に反映するもの(18件)
- B 答申案に記載済み又は趣旨に含まれ、賛同いただいているもの(214件)
- C 本構想の推進に当たり、参考とするもの(156件)
- D その他、市政運営等で参考とするもの(9件)

将来構想全般

No.	意見概要	意見数	区分	本市の考え方	
1	本構想に賛同する。	3	B	本エリアは、近年、京都美術工芸大学京都東山キャンパスが開校され、今後も京都市立芸術大学や京都市立銅駝美術工芸高校の移転が予定されるなど、文化芸術の新しい動きが生まれる”火床”となる場所であり、国内外から多くの人が集まり、交流し、世界へ広がる創造の一大拠点となることが期待されており、また、文化庁の京都への全面的な移転が決定されるなど、文化芸術によるまちづくりの機運が高まる中、本エリアの様々な主体が将来ビジョンを共有し、京都駅周辺エリアの多層な機能の連携により、「文化芸術都市・京都」の新たなシンボルゾーンを創生し、本エリアの活性化を推進してまいります。	
2	本構想に期待している。	3	B		
3	京都の玄関口である本エリアが芸術と文化のまちに生まれ変わるの素晴らしい。	1	B		
4	学生と文化のまちとしての魅力を活かした地域づくりを期待している。	1	B		
5	本構想は、京都がもっと文化芸術に溢れて、世界に誇ることができる都市になっていくために必要なものである。	1	B		
6	本構想は、地元住民としっかり議論してまとめられたと聞いており、応援する。	1	B		
7	京都駅周辺が、大阪や神戸のような都心ではなく、文化を切り口とした素晴らしい都心になることを期待する。	1	B		
8	総花的にならず、施策は有用なものに絞られている。本構想案を軸に活性化を進めてほしい。	2	B		
9	京都駅西部、東南部、東部エリアを分けて検討している理由は。	1	B		京都駅西部、東南部、東部エリアはそれぞれポテンシャルや課題が異なっており、エリアごとに特色があるため、分けて検討してまいりました。
10	地域ごとの特色が分かるよう写真等を用いて市民に分かりやすいパブコメ冊子にしてほしい。	1	A		誰にとっても分かりやすい内容になるよう、将来構想の冊子に、写真や将来のまちの姿のイメージ図を追加するなど、工夫してまいります。
11	市民意見募集パンフレットが詳しすぎ、意見が出しにくい。	1	A		
12	寺社の関係者も検討委員会の委員にするべきではないか。	1	C		検討委員会の委員には、地域の方をはじめ、学識経験者や大学、商店街の方など、幅広い分野の方に御就任いただいております。議論を進めてまいりました。本構想の推進に当たっては、寺社の関係者の御意見も踏まえながら、取り組んでまいります。
13	検討委員会の議事録を公表してほしい。	1	A		検討委員会の議事録を京都市ホームページに公表しました。

I 構想策定について（背景と目的・基本事項）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
14	堀川・烏丸間は西部エリアでもあり、東部エリアと重複している。	1	B	本エリアでは、本構想の検討以前から、下京涉成小学校区の5学区（植柳、稚松、菊浜、皆山及び崇仁）において、「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」の構築に取り組み、京都の玄関口にふさわしい個性豊かで魅力的なまちづくりが進められてきたことを踏まえ、5学区を一体として、本エリアの対象としました。
15	今はエリア外になっている京都女子大学までエリアに含めてはどうか。	1	C	本エリアは、「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」の構築に取り組みられている下京涉成小学校区の5学区を中心に、鴨川の東にある「京都国立博物館」や「三十三間堂」などに続くエリア一帯としております。京都駅から東山の文化ゾーンに至る主な東西の動線（東西軸）を七条通と考えていることから、エリアの東側はおおよそ東大路通までのエリアとしております。
16	エリアをより活性化する資源として、今村家住宅を京都駅東部エリアに含めてほしい。	2	C	
17	西本願寺の前あたりはあまり京都駅東部エリアとは関係がないのではないかと。	1	C	これまでから、本エリアの内外において、又はエリアの範囲をまたいで、地域性、歴史性を持ったまちづくり活動が行われていることは認識しております。
18	植柳学区は京都市立芸大の移転予定地や高瀬川とは東本願寺を挟んでいるため、少し距離を感じる。	1	C	これらのまちづくりが更に発展するよう、多様な主体の皆様とも協働しながら、本エリアの活性化に取り組んでまいります。
19	歴史的な経過を踏まえ、京都駅東部エリアを決めてほしい。	1	B	
20	構想案は東部エリアではなく、崇仁学区の整備が目的ではないか。	1	C	本構想は、崇仁学区への京都市立芸大移転を契機として、「文化芸術都市・京都」のシンボルゾーンを創生し、本エリア全体を活性化させることを目的として策定するものです。
21	京都市が推進しているレジリエンスやSDGsの観点から、非常に有益な考え方であり、本構想にも記載が必要ではないか。	1	A	京都市レジリエンス戦略については、本構想の関係する各種計画に位置付けます。また、構想の実現に向けて、レジリエンスの視点を取り入れるとともに、SDGsの達成も視野に取組を進めてまいります。

II ポテンシャルと課題

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
22	人口減少や高齢化、空き家の課題は京都市が引き起こしたことではないか。	1	C	例えば、空き家が発生し放置される要因は、所有者の意識や経済的要因、法的要因、需要と供給のバランスなど、様々な要因があると考えております。御意見は本構想を推進するにあたっての参考とさせていただきます。
23	崇仁学区は若者が少ないため、市営住宅を活用し、定住人口や若者を増やすことが課題である。	1	B	推進項目⑤「子育て世帯等の市営住宅入居促進」を推進するにあたって、子育て世帯の市営住宅の入居促進に取り組んでまいります。
24	崇仁新町の運営者はどのように決まったのか。	1	B	植柳・稚松・菊浜・皆山・崇仁学区の自治会組織と京都市、京都市立芸大で構成する「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」において、芸大移転を契機としたまちづくりについて議論をしており、地域自らが運営主体として、京都市立芸大移転予定地を暫定活用し、地域の賑わいを創出する取組を実施しようとの話し合いのうえ、実現に至った事業が「崇仁新町」となります。
25	賑わいの創出は重要であるが、「崇仁新町」のビニール小屋の店構えは京都らしい景観にふさわしいものとは思えない。	1	C	推進項目⑧「新たな賑わいの創出と商店街及び周辺地域の活性化」を推進するにあたって、御意見を参考にさせていただきます。
26	商店街には駐車場がないので、行きづらい。	1	C	
27	京都国立博物館は春秋の特別展前後に休館をしており、いつでも訪れることができる施設となっていない。	1	C	推進項目⑩「芸術系大学と施設の連携による文化芸術の振興」の推進にあたって、御意見を参考にさせていただきます。
28	このエリアに住んでいるが、観光客が多く、エリア内を回遊する気になれない。	1	B	朝観光・夜観光の推進など、時間、時期、場所の分散化などの施策により、観光地の混雑を緩和するなどして、市民生活とも調和した観光施策を推進してまいります。
29	観光と市民生活が調和していることが大事である。	1	B	
30	観光客が増えすぎて市民は暮らしにくくなっている。	1	B	
31	観光客と地元住民のトラブル対策のため、宿泊・商業エリアと住居エリアを明確化してはどうか。	1	C	「観光客と地元住民のトラブル」といった課題に対しては、市民生活と観光との調和を図る方針のもと、徹底した指導による違法・不適切な民泊の根絶、市バスの混雑緩和や時期・時間・場所の分散化、マナー啓発など、全力を挙げて取り組んでおります。また、「エリアの明確化」については、都市計画マスタープランに基づき、地域ごとの特性を活かした秩序ある土地利用の誘導を図っているところです。
32	京都市立芸大が来て、学生が増えることによって、地元の飲食店が混雑するのは困る。	1	C	京都市立芸大では、移転までのプロセスも重要であることから、現在、移転までの期間を有効に活用し、地域の方々との連携の下、崇仁地域で様々な活動を行っております。いただいた御意見を参考に、大学が新しい住民として、今後も地域と協働するまちづくり活動について、地域とともに検討してまいります。
33	京都市立芸大が来て、治安が悪くなることを懸念する。	1	C	
34	若者たちが地域のなかで京都の伝統工芸等の仕事に従事しながら、生活することができる場所を作ることが喫緊の課題ではないか。	1	B	推進項目⑪「文化芸術・伝統産業など様々な分野における多様な担い手の育成」を推進するにあたって、本エリアにおいて、地域や芸術系大学、事業者、行政等が協力して、多様な担い手の育成・支援に取り組んでまいります。
35	学生や若手芸術家に住んでもらって、文化芸術の発展を進めるならば、住み続けてきた人と新しく住む人の交流が課題である。	1	B	方策1「多様な人が交流し、多様な価値観が尊重される豊かなコミュニティの実現」を推進し、住民同士や住民と学生の交流に取り組んでまいります。

Ⅲ 京都駅東部エリアの将来ビジョン

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
36	将来のまちの姿をイメージ図で示してほしい。	1	A	誰にとっても分かりやすい内容になるよう、将来構想の冊子に、写真や将来のまちの姿のイメージ図を追加するなど、工夫してまいります。
37	将来ビジョンの「文化芸術都市・京都のシンボルゾーンを創出し、人と人、人と地域がつながるまち」とはどういう意味か。	1	B	「文化芸術都市・京都のシンボルゾーンを創出し、人と人、人と地域がつながるまち」とは、本エリアにおいて、文化芸術と経済、大学、まちづくり、教育、福祉など、様々な分野との連携を図り、新たな魅力や価値を創出するなどにより、文化芸術における創造性を発揮し、国際的にも世界から注目されるエリアとなって様々な人が集い、まちが賑わい、これを世界に向けて発信する一大創造拠点を形成するエリアとなることを想定しております。
38	京都市立芸大の移転は、まちが大きく変わるきっかけになる。期待している。	6	B	本構想で掲げる3つの将来像「子ども・若者から高齢者まで、安心・安全に暮らし、誰もが集い、交流し、活力のあるまち」、「京都の玄関口・京都駅及びその周辺と東山の文化エリアを結ぶ立地にふさわしい賑わいのあるまち」、「京都はもとより、国内、世界の文化芸術をつなぐ拠点となるまち」の実現に向けて、3つの方策と各推進項目の推進に取り組んでまいります。
39	京都市立芸大の移転によって、東部エリアは様変わりする。この時期に市として大きなまちづくりの方向性を出すことは大変良い。	1	B	
40	京都市立芸大や駅前という立地を生かし、東京や大阪ではなく、京都ならではのまちづくりとして、今後に大いに期待したい。	2	B	
41	京都市立芸大が移転することで、若者が多い元気なまちになるのではないか。	1	B	
42	京都市立芸大が来ることで明るいまちになったら良い。	1	B	
43	京都市立芸大を崇仁地域へ移転し、京都の文化力や芸術力を国内外の人へ伝えてもらいたい。	1	B	
44	京都市立芸大が移転してきて、東山にも文化芸術のまちづくりが広がっていくことを期待する。	1	B	
45	「文化芸術」で駅前開発を打ち出せることと、住民が住み続けることを重視するのは京都ならではの、アピールポイントとして広く発信できる。	1	B	
46	京都の玄関口であるこのエリアでは、文化や芸術、地域の方とのふれあいなど、京都の特色を生かしたまちづくりをしてほしい。	2	B	
47	世界の富裕層を集めるのか、市民が気軽に立ち寄れるエリアを目指すのか、今後のまちづくりの中で明らかにしてほしい。	1	B	
48	京都市立芸大の移転によって、実際のまちづくりにどうかかわるのか、住む人を増やしたいのか、商業的な活性化を目指しているのか、分からない。	1	B	
49	学生が住みやすいまちになったら良い。	2	B	
50	子育てがしやすい、働きやすい、スーパーマーケットなどの生活利便施設が揃っているなど、住みやすいまちであることが大切。	1	B	
51	まちが活性化して賑わいのあるまちになれば良い。	1	B	
52	京都市立芸大の移転によって、実際のまちづくりにどうかかわるのか、住む人を増やしたいのか、商業的な活性化を目指しているのか、分からない。	1	B	
53	京都駅東部エリアは、交通便利性の高い地域なので、京都市内だけでなく、広く多くの人が集う場所となってほしい。	1	B	本構想の将来像2「京都の玄関口・京都駅及びその周辺と東山の文化エリアを結ぶ立地にふさわしい賑わいのあるまち」の実現に向けて、方策2を推進してまいります。
54	本エリアで人の動きが活発になり、もっと賑やかなまちになってほしい。	1	B	

Ⅲ 京都駅東部エリアの将来ビジョン

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
55	学生に歩き回ってもらえるまちになれば、活気のあるまちになるのではないかと。	1	B	本構想の将来像2「京都の玄関口・京都駅及びその周辺と東山の文化エリアを結ぶ立地にふさわしい賑わいのあるまち」の実現に向けて、方策2を推進してまいります。
56	将来像2の実現のためには、JR東大路駅の設置が必要ではないかと。	1	C	本市では、地域からの御要望等を踏まえ平成18年度に新駅設置検討に係る調査を行い、それ以降必要に応じて協議等を実施しておりますが、線路の構造(掘割構造)や重要構造物(トンネル・今熊野橋)に隣接している等の技術的な課題のほか、東海道本線の便数が多く施工時間が非常に短くなるため多額の整備費が必要となり、本市の負担額も大きくなるため、現状で新駅設置に向けた取組を進めることは困難な状況です。
57	「JR今熊野駅」を早期実現するようJRに働きかけてほしい。	1	C	しかしながら、東山南部地域における公共交通の利便性向上の必要性については認識しており、平成22年1月に策定した「歩くまち・京都」交通戦略の柱の一つである「既存公共交通」の取組として、鉄道やバス等の交通事業者との連携のもと、東福寺駅におけるJRと京阪の連絡改札口の設置や、市バス202、207号系統の一部を京都駅経由にする等の取組を行っており、引き続き、利便性向上に向けた検討を進めることが重要であると考えております。
58	東山区にもJRの駅ができれば良い。	1	C	また、東山地区での渋滞対策として、広域的なパークアンドライドを実施することにより、自動車流入抑制に取り組んでまいります。
59	このエリアが、国内と世界の文化芸術をつなぐまちとなるのを期待する。	1	B	
60	文化芸術で落ち着いた雰囲気のあるまちになると良い。	1	B	本構想の将来像3「京都はもとより、国内、世界の文化芸術をつなぐ拠点となるまち」の実現に向けて、方策3を推進してまいります。
61	崇仁地域が文化と芸術があふれるまちとなることを期待している。	1	B	
62	京都市立芸大や京都美術工芸大学の立地を最大限生かして、芸術と経済が融合するエリアになってほしい。	1	B	文化芸術と経済、大学、まちづくり、教育、福祉など様々な分野との有機的な連携を図り、持続可能なまちづくりや新たな魅力、価値の創出に取り組むことにより、本エリアの活性化に取り組んでまいります。
63	一層の商業の進展が必要ではないかと。	1	B	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策全般）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
64	具体的な面とそうでない面がある。	1	B	方策や推進項目の具体化に当たっては、多様な主体がお互いの思いを伝え合い、アイデアを出し合いながら、取り組んでまいります。
65	推進項目が多く、聞いたことがない単語もあり、分かりにくい。	1	A	
66	京都市立芸大の発展のためにも、移転に賛成する。	1	B	京都市立芸術大学の京都駅東部エリアへの移転は、京都市立芸大の発展はもとより、文化・芸術を核とした人づくり、ものづくり、まちづくりの拠点として経済を活性化し、京都全体の特色あるまちづくりを一層推進する契機となり、京都の都市格と魅力の向上に大きく貢献するものと考えております。今後も、様々な方の御意見をお聞きするとともに、情報発信にも努めてまいります。
67	京都市立芸大の移転整備費は、京都が発展するための必要な投資であり、京都市立芸大の移転に賛同する。	2	B	
68	最近市内の大学で新しく何かができるということがなかったので京都市立芸大には期待している。	1	B	
69	大学には個性があり、周辺のみちにも影響を与える。京都市立芸大は、素晴らしい立地に移転するので、存分に個性を発揮してほしい。	1	B	
70	京都駅前にただの大学ではなく、芸術大学ができることは良い。	1	B	
71	京都駅のすぐ近くに大学ができることは良い。	1	B	
72	京都市立芸大が、交通便利なところに移転することは良い。	1	B	
73	京都市立芸大への進学を希望しており、大学が交通便利なところに移転することは良い。	1	B	
74	京都市立芸大の在学中に、まちなかに移転すればなお良かった。	1	B	
75	京都駅近くにはクラシックコンサートに適したホールがないので、京都市立芸大のホールができるのが楽しみである。	1	B	
76	京都市立芸大が来れば、音楽や文化芸術を身近に感じられて良い。	1	B	
77	京都市立芸大の移転は不要である。	2	C	
78	京都市の予算が厳しい中、なぜ京都市立芸大の移転が必要か理解できない。移転を延期してほしい。	2	C	
79	京都市立芸大の移転は音楽学部だけでよいのではないか。そうすれば費用も少なくて済む。	1	C	
80	京都市立芸大の移転は不要である。京都市立芸大の移転に何百億も税金を使うことに納得がいかない。	1	C	
81	予算が厳しいのであれば、京都市立芸大の移転は不要である。	1	C	
82	京都市立芸大の移転に300億円かかるのは無駄である。	1	C	
83	京都市立芸大と銅駝高校の移転は不要ではないか。必要なら現地で建て替えばよい。	1	C	
84	京都市の予算が厳しいのであれば、京都市立芸大と銅駝高校の移転を考え直してほしい。	2	C	
85	京都市立芸大の移転整備においては、退任される現学長からの意見を引き続き聞くようにしてほしい。	1	B	
86	京都市立芸大には、災害時における避難所機能を持ってほしい。	1	B	元崇仁小学校の体育館は、現在避難所となっており、京都市立芸大の移転後においても、その機能を維持してまいります。また、京都駅に一番近いC地区の建物内に、災害時の帰宅困難者の一時滞在スペースを確保してまいります。

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策全般）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
87	京都市立芸大から鴨川に降りることができるのは良いが、誰もが通れるようにしてほしい。	1	C	御意見を参考に、市民や国内外からの来訪者など、様々な人々の交流・憩いの場ともなるよう、キャンパス内の機能や活動について、検討してまいります。
88	京都市立芸大が観光スポットとして気軽に出入りできるくらい開かれた大学になってほしい。	1	C	
89	京都市立芸大に住民がコンサートすることができる場所があると良い。	1	C	
90	京都市立芸大は、敷地内完全禁煙としてほしい。	1	C	キャンパス内の禁煙等の取組は個々の大学で独自に検討すべき課題であると考えております。なお、京都市立芸術大学においては、キャンパス内全面禁煙に向けた指針が策定され、キャンパス内を全面禁煙することを目標に、喫煙場所の削減等に取り組まれております。
91	京都市立芸大の移転以外の具体的な取組を示す必要があるのではないかと。	3	B	方策や推進項目の具体化に当たっては、多様な主体がお互いの思いを伝え合い、アイデアを出し合いながら、取り組んでまいります。
92	東南部エリアとの具体的なまちづくり方策について提案してほしい。	1	B	本エリアと隣接する京都駅東南部エリアは「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりを進めており、本エリアとも連携が必要であると考えております。本構想を推進する中で、取組の具体化を図ってまいります。

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策1）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
93	子育て世帯が住みやすい環境づくりを推進してほしい。	1	B	方策1「多様な人が交流し、多様な価値観が尊重される豊かなコミュニティの実現」の推進に当たっては、誰もが文化芸術を創造し、享受することができる環境づくりなど、文化芸術が持つ力を活かしたまちづくりを推進することにより、本エリアへの定住を促進するとともに、まちづくりの担い手育成を支援してまいります。 また、住民同士や住民と学生、訪れる方との交流にも取り組んでまいります。
94	障害のある方がまちづくりに参加して、地域の活性化ができれば良い。	1	B	
95	地域で交流が少ないので、京都市立芸大の学生の力を活用してもらえると良い。	1	B	
96	京都市立芸大の学生と地域の方が一緒にまちを活性化できたらよい。	1	B	
97	京都市立芸大と地域が対話して、地域課題の解決に一翼を担えるような大学のあり方を考えれば良い。	1	C	
98	学生が地域の人と交流して、学んでいくことが必要ではないか。	1	B	
99	学生としてこのエリアで学んでいる間に、京都らしい行事や地域の取組に関わりたい。	1	B	
100	銅駝高校の高校生は美術が専門なので、他の高校にはできないような、まちづくりへの協力ができるのではないか。	1	B	
101	学生が地域に住みついて、地域で活動してもらえるような環境を地域の者が協力して、整えていきたい。	1	B	
102	地域の活動に参加する学生に対しては家賃の減免をするなど、学生が住み続けられ、地域活動に参加しやすい仕掛けが必要ではないか。	1	C	
103	住んでいる人にとって住みやすいまちでなければ、まちの活性化には、疑問を感じる。	1	C	
104	どんどんホテルや民泊ができて、自治会が上手く運営できない状態になってきている。	1	C	
105	障害者もみんなと同じように文化芸術活動に参加できる社会になってほしい。	1	B	
106	障害者アートの観点からの事業展開に期待したい。	1	B	
107	まちづくりを考えるのであれば、イベントではなく、地に足の着いた取組が中心でないと一過性になるのではないか。	1	C	
108	イベントを実施するには、金と人が必要であり、これから10年間税金を投入し続けるということか。	1	C	
109	高瀬川の水中探検や子どもと楽しく遊べるイベントの開催などで、どんどん地域を活性化してほしい。	1	C	
110	上賀茂手作り市のように定期的にイベントを行ってはどうか。	1	C	
111	市民みんなで芸術作品を作り上げるイベントをしてはどうか。	1	C	
112	子どもが参加しやすいイベントがあると良い。	1	C	
113	京都市立芸大の学生と地域が、アートのイベントなどで活性化できたら良い。	1	C	
114	京都市立芸大の学生が作った作品やミニコンサートを身近な場所で発表してほしい。	1	C	
115	京都市立芸大で、高齢者でも気軽に芸術に親しめる展覧会やコンサートを開催してほしい。	1	C	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策1）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
116	子どもが文化芸術に触れることで、創造性が生まれ、アーティストも子どもから刺激を受けるため、様々な形で交流をすることが良い。	1	B	推進項目①「誰もが文化芸術活動に参画できる環境の推進」の具体化に当たっては、子どもが文化芸術活動に参画することができるよう、取り組んでまいります。
117	「子どもたちが文化芸術や伝統産業に触れ、学び体験する機会の提供」は重要だと思うので、しっかり進めてほしい。	4	B	
118	屋間にコンサートができるスペースがあれば良い。	1	B	推進項目①「誰もが文化芸術活動に参画できる環境の推進」の具体化に当たっては、誰もが文化芸術を学び、制作し、発表できる場づくりなど、文化芸術を支える環境の充実を図ってまいります。
119	誰でも気軽に芸術文化に触れられる場を作ることが必要ではないか。	1	B	
120	若手芸術家だけでなく、退職後の方もボランティアとして活躍ができるまちになると、より活性化するのはではないか。	2	B	推進項目①「誰もが文化芸術活動に参画できる環境の推進」の具体化に当たっては、文化ボランティアへの参加の促進など、文化芸術を支える環境の充実を図ってまいります。
121	子どもや大人向けの音楽のレッスンを実施してほしい。	1	C	推進項目①「誰もが文化芸術活動に参画できる環境の推進」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
122	気軽に美術や音楽が楽しめるようなまちにしてほしい。	1	C	
123	京都市立芸大の学生が陶芸などを教えてくれるワークショップをしてはどうか。	1	C	
124	京都市立芸大の学生や銅駝美工の生徒による地元小・中学校での授業等が実施できれば、将来的に芸術を志す子どもが増えるかもしれないし、また、より両校が地域に根付くきっかけにもなるのではないか。	1	B	
125	京都・学生能楽フェスティバル(まさる会)の学生の自主公演を京都市と共催してはどうか。	1	C	
126	子ども向けの本格的なアート教室が少ないので、体験だけではなく、有料常設の教室を開講してほしい。	1	C	
127	大学が夏休み等で休みの時は、留学生と交流できる小学生向けのEnglishキャンプをやってほしい。	1	C	
128	地域の人と学生や芸術家、音楽などのパフォーマーが交流できる場所やそのつなぎ役が必要である。	1	B	
129	芸術系大学と地域が連携して、地域の方の家で作品の展示会ができればよい。	1	C	
130	京都市立芸大がどのように地域と連携するか具体的な姿を示してほしい。	1	B	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策1）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
131	エリアの中には、七条大橋をはじめ、歴史や価値がありながら、広く知られていない資源がたくさんある。これらの価値を理解してまちづくりを進めることが必要。	1	B	推進項目②「地域資源を保全・活用したまちづくりの推進」の推進に当たっては、現在、既に行われている地域性、歴史性を持ったまちづくり活動やこれらを通じた地域への愛着、誇りを高めるまちづくりを促進してまいります。
132	七条大橋や柳原銀行を地域のシンボルとして活用するのは良いことである。	1	B	
133	今村家文書は、京都駅東部エリアの歴史などが分かる史料であり、これを大切に活用して活性化を進めてほしい。	1	B	
134	地域の方が、地域の歴史やこれまでのまちづくりを相互に理解し、尊重しながら、文化芸術で、豊かなまちづくりが進めばよい。	1	B	
135	崇仁学区は東・西本願寺や三十三間堂、豊国神社、京都国立博物館などは歴史的な背景が違うので、地域の特性を踏まえた思い切った策を期待する。	1	B	
136	東西本願寺を中心とした地域と、高瀬川を中心とした鴨川西、鴨川東の地域はそれぞれ地域性や特色が違うため、まちづくりの手法もそれぞれに合わせて作ったほうがよい。	1	B	
137	高瀬川の生物多様性を維持するような取組があると良い。	2	C	推進項目②「地域資源や自然環境を保全・活用したまちづくりの推進」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
138	七条大橋の文化財としての意義を高札で紹介してほしい。	1	C	
139	下京渉成小学校区の5学区には歴史的な共通項があり、京都市立芸大の移転整備を通じ、歴史、文化を発信していく必要があるのではない	1	B	
140	昔、川が流れていた堀川通、西洞院通などにアクリルガラスを設置し、LEDで川の流れを再現してはどうか。また、説明板を設置してはどうか。	1	C	
141	学生が町内会活動や祭りに参加してはどうか。	2	C	
142	芸術資源のデジタルアーカイブ化とはどういうことか。	1	B	デジタルアーカイブとは、文化・学術・産業等、様々な「財」をデジタル技術で蓄積し、あらゆる人が自由に利用できる環境を整えることです。 推進項目③「芸術資源や地域情報の収集・保存・活用」の推進に当たっては、芸術資源や地域情報のデジタルアーカイブ化を支援し、教育研究分野や地域の担い手育成など、その活用に取り組んでまいります。
143	芸術資源のデジタルアーカイブ化がまちづくりや私たちの生活に何の意味があるのか。	1	B	
144	高瀬川沿いを「哲学の道」のようにのんびり歩ける環境とし、生物多様性を軸に自然に近い緑地を整備し、市民の憩いの場としてはどうか。また、その場所で京都市立芸術大学と連携してイベントをしてはどうか。	1	C	推進項目④「交流スペースとしての公共空間の活用」や、推進項目⑨「文化芸術発信の場として公共空間の活用」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
145	京都市立芸大と地域が交流する京都市立芸大のB地区では、音の大きさなど周囲に気にせずイベントができる場所となると良い。	1	C	
146	京都市立芸大と地域が交流する京都市立芸大のB地区に大学と地域の方が川の水や生き物と戯れることができる親水式の庭園を設け、自然石や橋脚、石碑などを設置してはどうか。	1	C	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策1）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
147	京都市立芸大のB地区にできる水だまりを「崇仁船入」または「柳原船入」と命名し、「地域に開かれた空間」として住民、市民、芸大が交流し合う場としてはどうか。	1	C	推進項目④「交流スペースとしての公共空間の活用」において、京都市立芸大の大学施設と高瀬川を含む敷地周辺の整備を検討するに当たり、参考とさせていただきます。
148	京都市立芸大と地域が交流する京都市立芸大のB地区において、オープンガーデンカフェ空間等を創出してはどうか。	1	C	
149	京都市立芸大と地域が交流する京都市立芸大のB地区において、大学施設からの湧水や雨水も加え、きれいな水質の池のある広場を作ってはどうか。	1	C	
150	京都市立芸大の中に、市民が利用できる施設を作してほしい。	1	B	
151	京都市立芸大に学食が入っていると、住民も大学を利用しやすいのではないかと。	1	B	
152	京都市立芸大の学食に期待している。入りやすい雰囲気、子連れも受け入れてもらえるようにしてほしい。	1	B	
153	京都市立芸大の食堂とトイレを一般人が気軽に利用できる場所に設置してほしい。	1	B	
154	文化芸術をきっかけとして、色々な人が集まって話すことができる場があると良い。	1	B	推進項目④「交流スペースとしての公共空間の活用」に当たっては、鴨川、高瀬川や歩道、京都市立芸術大学敷地内の広場など、多様な人の交流する場の創出に取り組んでまいります。
155	色々な年代の人が集まって、交流できる機会や場があると良い。	1	B	
156	定住人口を増やすため、子育て世帯は市営住宅の家賃を減額してはどうか。	1	C	市営住宅の家賃については、公営住宅法及び住宅地区改良法により定めており、子育て世帯や高齢者世帯への収入要件緩和のほか、京都市独自で低所得者への減免措置を講じております。また、推進項目⑤「子育て世帯等の市営住宅入居促進」の推進にあたっては、優先公募等により子育て世帯の市営住宅への入居を促進するとともに、空き部屋を若手芸術家の制作、居住の場としての活用に取り組んでまいります。
157	若い世代やクリエイティブな人々の市営住宅の入居促進には入居要件緩和の検討が必要である。	1	C	
158	市営住宅の家賃体系は、応能負担となっており、収入が高ければ家賃も高くなるため、元気な高齢者や若い世代が住み着きにくい制度となっている。	1	C	
159	崇仁学区の市営住宅に他地域の市民や子育て世帯が入居できるようにするということか。	1	B	
160	市営住宅の空き部屋を活用すべきではないか。	1	B	
161	空き家を芸術系大学の学生に活用してほしい。	1	B	推進項目⑥「空き家対策の推進」の推進にあたっては、東山アーティスト・プレイスメント・サービス（HAPS）による空き家の紹介など、若手芸術家などの居住・制作・発表の場としての活用に取り組んでまいります。また、取組の具体化にあたっては、御意見を参考とさせていただきます。
162	空き家が増えてきているので、芸術家に活用してほしい。	1	B	
163	空き家をリノベーションして、京都市立芸大の学生や市内各大学に通う学生が住めるようにしてはどうか。	1	B	
164	京都市立芸大の卒業生が移転先周辺に住んだり、アトリエを持てるように、家賃や改築の補助をするべきではないか。	1	C	
165	芸術家が空き家を安く利用できる仕組みがあると良い。	4	C	
166	地域の活動への参加などを条件として、学生が家賃の安い住宅に住めるようになれば良い。	1	C	推進項目⑥「空き家対策の推進」の推進にあたっては、1年以上居住・利用していない空き家を地域の居場所や学生の住まいなどに改修する場合に補助する改修助成制度など空き家の活用促進に取り組んでいます。今後の取組にあたっては、御意見を参考とさせていただきます。
167	空き家対策として、所有者が分からない空き家や、税金の滞納がある物件は競売にかけられるよう法改正すべきである。	1	C	
168	空き家に子育て世代が住めるよう、リノベーション費用と家賃を子育ての人が払いやすい額にするよう補助してはどうか。	1	C	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策2）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
169	”文化芸術”と”賑わい”を両立させることは難しいのではないかと。	1	C	方策2「京都駅と東山の文化エリアを結ぶ立地特性を活かした新たな賑わいの誘導」を推進するに当たって、文化芸術と観光をはじめとする関連分野とを連携させることにより、経済的な価値を創出し、持続的な文化芸術の発展と経済成長の好循環を生み出すこととしております。方策2や各推進項目に取り組む中で、その具体化を図ってまいります。
170	文化芸術をいかに産業や経済と結びつけるかが重要で、振興策を具体的に示す必要があるのではないかと。	1	B	
171	七条通には人の流れがあり、東大路通や本町通の南側への人の流れを生み出すため、イベントの開催が必要である。	1	C	
172	商店街がアートで盛り上がったらい。	1	B	
173	七条通の東大路から西大路までの商店街が連携して賑わいづくりに取り組んではどうか。	1	C	
174	崇仁新町は期間限定なので、何らかのフードの広場を続けてほしい。	1	C	
175	スマートファン等でQRコードを読み取ることで、例えば、新日吉神宮にお公家さんが牛車でお祭りに参列する様子などを現出させてみるのはどうか。	1	C	
176	この地域の大学生、高校生が取材、編集を行い、地域の商店を紹介するフリーペーパーを発行してはどうか。	1	C	
177	エリア内を回りたくくなるような、地域と連携した仕掛けづくりが必要である。	1	B	
178	エリア内の集客力のある店とギャラリーなどの施設が連携した企画をすると良いのではないかと。	1	C	
179	屋台をもっと作って、広報をすれば活性化が進むのではないかと。	1	C	
180	イベントを開催するなどして、気軽に来もらえるエリアになってほしい。	2	C	
181	シャッターに絵をかくなど、まちの中にアートを取り入れてはどうか。	1	C	
182	商店街に若者向けの店があれば、今よりも賑わうのではないかと。	1	C	
183	三十三間堂、三島神社、御寺泉涌寺など、皇室と深い縁を持つこの地域をクローズアップしてはどうか。	1	C	
184	京都市立芸大の人がクリエイティブにこのエリアを変えてほしい。	1	C	
185	正面通の任天堂創業の地を、京都発のトランプやファミコンなどの玩具と、投扇興などの遊戯の博物館として整備してほしい。	1	C	
186	国内外の美術学校が推薦する学生を招聘し、京都・国際美術学生フェスティバルを開催してはどうか。	1	C	
187	作陶から5年以内の作家の登竜門として、京都・国際陶芸作家新人賞を開催してはどうか。	1	C	
188	平安時代から伝わるデザインの再発見に取り組む京都女子大学家政学部と協力し、ファッションショーをしてはどうか。	1	C	
189	活性化の一環として、史跡仏閣の一部を本来とは違う形に変更するのは間違いである。	1	C	推進項目⑨「歴史的・文化的建造物等の活用」の推進に当たって、御意見を参考とさせていただきます。
190	お寺で朝にヨガや座禅体験ができるなど、特別感のあることができれば良い。	1	B	推進項目⑩「文化財等の活用による観光振興」を推進するに当たって、寺社における朝の体験型メニューの充実など、新たな観光コンテンツの開発に取り組んでまいります。
191	今ある文化財や施設を、まず知ってもらうことが大事ではないかと。	1	B	推進項目⑩「文化財等の活用による観光振興」を推進するに当たって、文化財や施設を

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策2）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
192	今ある文化財や施設を知ってもらう広報にSNSを活用してはどうか。	1	B	知っていただけるよう、積極的な観光情報の発信に取り組んでまいります。
193	このエリアの寺社巡りなどで1日楽しめるようになれば良い。	1	C	推進項目⑩「文化財等の活用による観光振興」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
194	お寺にアート作品を展示し、スタンプラリーをしてはどうか。	1	C	
195	エリア内の空き家に宿泊し、エリア内の観光や伝統産業の体験、音楽を楽しめるツアーを行ってはどうか。	1	C	推進項目⑪「京都の文化に触れる機会の充実」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
196	文化芸術作品を購入する場が必要ではないか。	2	A	方策2において、文化芸術と観光をはじめとする関連分野とを連携させることにより、経済的な価値を創出し、持続的な文化芸術の発展と経済成長の好循環を生み出すこととしております。そのため、推進項目⑫「文化芸術に関するイノベーションの創出や伝統産業の振興」において、御意見の趣旨を記載します。
197	文化芸術に対する需要の喚起策も検討してほしい。	1	A	
198	京都駅東部エリアには、商品開発の拠点よりはむしろ、多くの人を訪れ、文化芸術を体験し、消費することによって、経済的価値を生むお店や施設の整備や誘導が必要ではないか。	1	A	
199	ソーシャルイノベーションの取組では、京都駅東部エリアと西部エリアは横断的に連携できるのではないか。	1	B	推進項目⑫「文化芸術に関するイノベーションの創出や伝統産業の振興」の推進に当たって、西部エリアの取組と連携して取り組んでまいります。
200	ホテルやゲストハウス内で伝統工芸品を販売するなどの協力ができるのではないか。	1	C	推進項目⑫「文化芸術に関するイノベーションの創出や伝統産業の振興」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
201	京都市立芸大の学生の作品を見るだけでなく、買うことができる仕組みがあると良い。	2	C	推進項目⑫「文化芸術に関するイノベーションの創出や伝統産業の振興」において、文化芸術作品等の制作に係る資材等のリサイクルの仕組みを検討するに当たり、参考とさせていただきます。
202	芸術作品にも再利用可能な材料が使用されると良い。資源回収ステーションがあると材料が集まるのではないか。	2	C	推進項目⑫「文化芸術に関するイノベーションの創出や伝統産業の振興」において、文化芸術作品等の制作に係る資材等のリサイクルの仕組みを検討するに当たり、参考とさせていただきます。
203	京都駅の北口を出た際に、京都駅東部エリアに意識がいく仕掛けがない。	1	B	推進項目⑬「文化芸術を“五感”で感じながら、安心・安全で楽しく回遊できる環境づくり」を推進するにあたって、京都市立芸大の塩小路通沿いには、講堂兼音楽ホールやギャラリー@KCUA、芸術資料館を配置し、その動線の魅力の向上を図るとともに、安心・安全で、快適な歩行空間を確保するため、京都市立芸大周辺において、歩道の拡幅を行うなど、魅力あふれる空間の創出に取り組んでまいります。また、御意見は、推進項目⑬の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
204	京都駅から東山区に続く回遊性が向上することを期待する。	1	B	
205	七条通は結構人が歩いているので、塩小路通にも人の流れができると良い。	1	B	
206	京都駅の東側に人の流れを作してほしい。	1	B	
207	京都市立芸大が来るので、塩小路通にも人の流れができる。どんどん活性化していくと良い。	1	B	
208	京都駅東部エリアが、京都市立芸大で行われるコンサートの行き帰りに文化の香り漂う空間になってほしい。	1	B	
209	塩小路通を歩いて鴨川を渡ることを誘引するような施設、道路環境、河川環境を整えるべきではないか。	1	B	
210	京都駅から京都市立芸大の方向へ誘引する仕掛けをつくってほしい。	1	B	
211	京都市立芸大の周辺が歩きやすいまちになってほしい。	1	B	
212	塩小路通の拡幅においては、緑地や立ち木は不要であり、バス停と一体に整備すべきである。	1	C	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策2）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
213	京都市立芸大の移転で交通の混雑が増すため、活性化にはつながらないのではないか。	1	C	
214	都心地区への回遊性を考えると、バスだけでなく、レンタサイクル・シェアサイクルも活用した方が良い。	1	B	推進項目⑬「文化芸術を“五感”で感じながら、安心・安全で楽しく回遊できる環境づくり」を推進するに当たって、本エリアにおいて、民間事業者によるシェアサイクルの拠点の充実など、より便利な移動環境づくりを推進してまいります。
215	京阪電鉄を事業者とし、京都の大学の建物の入口に屋根付きのシェアサイクルのポートを設置するなど、シェアサイクルを充実してはどうか。	1	C	
216	高瀬川を横切る五条通、七条通、塩小路通、須原通について、直接高瀬川沿いに散策できるように改善してほしい。	1	C	
217	五条通りの高瀬川の地下トンネルを改築し、スムーズに渡れるようにしてほしい。	1	C	
218	北からの人の流れをつくるため、五条通の下に道を通し、歩けるようにすれば良いのではないかと。	1	C	
219	京都駅から東山の文化ゾーンに向かって歩く人が少し休める場所があれば良い。	1	C	
220	東部エリアと東南部エリアのアクセスを良くして、大きな文化ゾーンとして発展させてほしい。	1	B	
221	シャッターに京都市立芸大の学生のアート作品が描いてあるなど、まちなかにさりげなく作品があれば良い。	1	C	
222	芸術は一般人には受け入れ難い部分があるので、表通りには一般受けするものを見せ、細い路地裏に面白いものがあるなど、探検したくなるまちになれば良い。	1	C	
223	京都駅から東大路通までJR沿線の上または沿線沿いにプロムナードとなる遊歩道を整備してほしい。	1	C	
224	京都駅から東大路通に向けて、高架歩道を設置すれば、人の流れができ、活性化するのではないか。	1	C	推進項目⑬「文化芸術を“五感”で感じながら、安心・安全で楽しく回遊できる環境づくり」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
225	東大路通で清水寺五条坂まで歩道を整備すれば、京都駅東部から塩小路通、七条通、五条坂までの繋がりが人や人の流れができ、活性化するのではないか。	1	C	
226	京都駅から京都市立芸大まで動く歩道があったら良い。	1	C	
227	川端通にも市バスを通してはどうか。	1	C	
228	エリア内を周遊するバスがあったら良い。	1	C	
229	地域の足として、ライトレール(市電)を導入してはどうか。	1	C	
230	移動手段において、自家用車の利用を制限すべきである。	1	C	
231	このエリアにある文化芸術資産を、効率よく回遊するための交通手段を考えるべきではないかと。	1	B	推進項目⑬「文化芸術を“五感”で感じながら、安心・安全で楽しく回遊できる環境づくり」において、より便利な移動環境づくりを推進するに当たり、参考とさせていただきます。

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策2）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
232	交通の便が良くなれば文化芸術に興味がある人がこのエリアにたくさん来るのではないか。	1	B	
233	自転車が走りやすい道路環境にしてほしい。	1	C	「京都・新自転車計画」も踏まえ、便利に移動できる環境づくりに取り組むうえで、参考にさせていただきます。
234	安全のため、歩行者道と自転車道を分けてほしい。	1	C	
235	京都駅前には、観光客が多く、自転車で走りにくい。	1	C	
236	歩道が狭く、歩きづらいところがあるので、歩きやすくなれば良い。	1	C	歩行者が安心・安全かつ快適に通行いただけるよう、今後の道路の維持管理や道路整備等を進める際の参考にさせていただきます。
237	歩道と道路の補修工事をしてほしい。	1	C	
238	河原町通の五条通から七条通の間が夜暗いので、明るくするなど安全に歩けるようにしてほしい。	1	C	
239	ベビーカーでも移動しやすいよう、歩道整備を進めてほしい。	1	C	
240	七条通を拡幅してはどうか。	1	C	
241	七条通と塩小路通は歩道が狭く、歩きにくい。	1	C	
242	木屋町通をもう少し明るくして、歩きやすくしてほしい。	1	C	
243	若者が住みやすいように、夜を明るくしたり、歩きやすい環境を作ってはどうか。	1	C	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策3）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
244	国内外の方々と文化芸術を発表、体験できる場があればよい。	1	B	推進項目⑯「文化芸術活動を活かした国際交流の促進」を推進するに当たって、世界中の芸術家が京都に集い、共同で制作したり、発表できる場を創出することにより、市民や国内外から訪れる方との国際的な交流に取り組んでまいります。
245	芸術のまちづくりのためには、作品を売買できるアートマーケットなど、若手のアーティストが仕事できる場が必要である。	1	B	
246	芸術系大学の卒業生が活躍できるまちになってほしい。	1	B	
247	若者の文化活動を支援してもらいたい。	1	B	
248	芸術家が職住できるまちになる必要がある。	1	B	
249	京都市内で学んだ学生で、市内に残る人は少ない。残った若者を大切にほしい。	1	B	
250	鴨川河川敷等の活用には京都府との連携・協力が不可欠である。	1	B	推進項目⑰「文化芸術・伝統産業など様々な分野における多様な担い手の育成」を推進するに当たって、本エリアにおいて、地域や芸術系大学、事業者、行政等が協力して、多様な担い手の育成・支援に取り組んでまいります。
251	三山、まちなみと融合して京都らしい風景をつくり出している鴨川を憩いの場として、もっと活用すべきである。	1	B	
252	鴨川沿いの遊歩道で狭いところがあるので、広くしてほしい。	1	C	
253	若者が楽器の練習ができたり、踊ることができる場所があれば良い。	1	B	
254	高瀬川にアート作品を展示してはどうか。	1	B	
255	高瀬川を活かした文化芸術活動を行ってはどうか。	1	B	
256	まちなかに、ベンチやマンホールアートなど、文化芸術を感じられるものがあれば、観光客にも住民にも喜ばれるのではないか。	1	B	推進項目⑱「文化芸術の発信の場としての公共空間の活用」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
257	京阪電鉄に協力いただいて、七条駅のコンコース等にアート作品を展示するなどして、「このまちが文化芸術のまち」と意識できるようにしてはどうか。	1	C	
258	地元を受け入れられ、景色に溶け込んでいくようなアート展示が見られるようになれば良い。	1	B	
259	崇仁地区の浴場を、京都市立芸大の学生をはじめとする芸術家の表現場所とするアート浴場にしてはどうか。	1	C	
260	崇仁地区の浴場をアート浴場にして、地域の交流の場としてはどうか。	1	C	
261	京都市立芸大とお寺が連携して実施できることがあるのではないか。	2	A	
262	下京区や東山区の七条通周辺には、総本山にもなっている多くのお寺があり、これらと一緒に芸術系大学が活性化に取り組むことも必要ではないか。	1		芸術系大学と寺社が連携することは重要であると考えており、推進項目⑳「芸術系大学と施設の連携による文化芸術の振興」に御意見の趣旨を記載します。

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策3）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
263	京都国立博物館で混雑する展覧会は金土日の夜間開館や早朝開館を検討すべきである。	1	C	推進項目⑳「芸術系大学と施設の連携による文化芸術の振興」の推進に当たって、御意見を参考とさせていただきます。
264	京都市立芸大の移転は、都市景観の向上に大いに寄与するので、しっかりと進めてほしい。	1	B	「京都市立芸術大学移転整備基本計画」に基づき、鴨川・高瀬川の岸辺景観、東山の眺望などの地域の景観特性や、周辺の住環境への影響などを十分に考慮するとともに、地域のまちなみ景観形成への寄与や都市デザインの観点から、キャンパス全体と各施設の建築デザインを総合的に検討し、京都における新たな景観の創造に向けて整備を行ってまいります。 世界に冠たる芸術大学として、創造的な芸術を生み出す、高度で多様な研究・教育環境を整えてまいります。
265	京都市立芸大の移転によって、地域の印象が大きく変わることを期待する。	1	B	
266	京都市立芸大の公開空地の景観が市民から愛され誇りを持ってもらえるような空間であってほしい。	1	B	
267	京都市立芸大の移転によって、学生が学びやすい環境になることを期待する。	1	B	
268	京都市立芸大移転予定地の周辺において、芸術家が文化芸術活動を自由に行えるよう、景観などの規制をゆるやかにしてほしい。	1	C	
269	ビル壁面の電光掲示板を撤去するなど、京都駅周辺の雑多な印象をおしゃれな街の雰囲気にしてほしい。	1	C	
270	新幹線から見えるところなので、京都らしい和を大事にしたまちなみにしてほしい。	1	B	
271	京都の景観をこれからも守ってほしい。	1	B	
272	崇仁学区のあたりは景観が寂しい感じがする。	1	C	
273	京都駅から東山に向かうときに、まだまだ開発中の風景が目立つので、京都の玄関らしくおしゃれになると良い。	1	C	
274	川端通沿いが歩いて楽しくなるような景観になってほしい。	1	C	
275	崇仁学区は市営住宅も含め古い建物も多くあり、賑わいを呼ぶためには、まず雰囲気を明るくすることが重要である。	1	C	
276	多くの人が訪れ、文化芸術を体験し、消費することにより、経済的価値を生むお店や施設については、隣接する京都駅東南部エリアに整備し、又は誘導する施設との棲み分けが必要ではないか。	1	A	「文化芸術」と「若者」を基軸としたまちづくりを推進し、「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」の誘致等、京都駅東南部エリアの取組との連動も重要であることから、推進項目㉑「京都駅東部エリアにふさわしい施設の誘導」に御意見の趣旨を記載します。
277	推進項目㉑の京都駅東部エリアにふさわしい施設のイメージが分からない。	1	B	本エリアを含む京都駅周辺エリアは、「京都市持続可能な都市構築プラン」(案)において、京都の都市活力を牽引する「広域拠点エリア」に位置付け、文化・芸術を基軸としたまちづくりが更に進み、人々を惹きつけているとの将来像を掲げており、地域にとって重要な施設の例として、「広域的な商業施設」、「オフィス」、「MICE施設」等をあげております。 また、七条駅周辺を、定住人口の求心力となる「地域中核拠点エリア」に位置付けており、地域にとって重要な施設の例として、「地域ニーズに応える商業施設」、「地域の拠点病院」、「図書館など生涯学習施設」等をあげております。こうした位置付けを踏まえ、本エリアにふさわしい施設の誘導に取り組んでまいります。

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策3）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
278	七条通において、文化的な貢献をする建築物には、容積率や建蔽率のインセンティブを与え、景観の創造的な規制をしてはどうか。	1	C	本エリアを含む京都駅周辺エリアは、「京都市持続可能な都市構築プラン」(案)において、京都の都市活力を牽引する「広域拠点エリア」に位置付け、文化・芸術を基軸としたまちづくりが更に進み、人々を惹きつけているとの将来像を掲げており、地域にとって重要な施設の例として、「広域的な商業施設」、「オフィス」、「MICE施設」等をあげております。 また、七条駅周辺を、定住人口の求心力となる「地域中核拠点エリア」に位置付けており、地域にとって重要な施設の例として、「地域ニーズに応える商業施設」、「地域の拠点病院」、「図書館など生涯学習施設」等をあげております。こうした位置付けを踏まえ、都市計画の決定・変更など、将来像を見据えた土地利用や景観の誘導策を検討してまいります。
279	文化芸術都市と分かるようランドマークとなる建築群が必要ではないか。	1	C	推進項目⑦⑭⑲「住宅関連事業の推進と将来活用地の活用」を推進するにあたって、崇仁学区における将来活用地においては、文化芸術と経済、大学、まちづくり、教育、福祉など、様々な分野の融合により、新たな魅力や価値を創出する機能の誘導や、人口減少や少子高齢化にも対応し、地域で暮らす誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進するため、生活を支える商業・医療・福祉・業務などの機能の充実に向けての活用を検討することとしており、その具体化に当たっての参考とさせていただきます。 また、推進項目⑳に掲げる「京都駅東部エリアにふさわしい施設の誘導」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。
280	観光客が目を引きような、建物や施設があるなど、このエリアの第一印象を高めてほしい。	1	B	
281	商業施設、福祉施設、アミューズメント施設を誘致すべきではないか。	1	B	
282	1階にギャラリーがあるなど、文化の香りあふれるオフィスビルが立地すれば良い。	1	B	
283	崇仁地区の将来活用地には、集客が見込める多目的イベント施設があれば良い。	1	B	
284	大阪にあるテーマパークのような若者が遊ぶことができる場所が近くにあれば良い。	1	B	
285	京阪七条駅から京都駅まで徒歩で移動する観光客が多いが、その通過点として、崇仁学区に旅行者が楽しめるようなスポットがあれば良い。	1	B	
286	文化都市なのに演劇等の発表できる場がなさすぎる。	1	C	
287	京都市立芸大移転予定地周辺にギャラリーが併設されている学生寮があれば良い。	2	B	
288	京都市立芸大の近くに作品を発表できる施設があると良い。	1	B	
289	文化やスポーツを情報発信する施設があればよい。	1	B	
290	近くに芸術作品を鑑賞できる美術館があると良い。	1	B	
291	京都市立芸大の近くに学生が文化芸術活動を自由にできる大きな公園のようなものがあれば良い。	1	B	
292	芸大の横にコンサートホールを作って、市民や観光客が気軽に音楽を楽しめるようにしてほしい。	1	B	
293	若い人が集まるカフェやレストランを作ってはどうか。	2	B	
294	河原町通の七条より南にお店を増やせばどうか。	1	B	
295	このエリアにショッピングモールができれば良い。	1	B	
296	京都市立芸大の周辺におしゃれな店が増えてほしい。	2	B	
297	京都市立芸大が来るので、アートを活かしたフオトスポットがあるなど、おしゃれな場所になれば良い。	1	B	
298	鴨川・高瀬川の川辺にオープンカフェがあれば良い。	1	B	
299	京都駅東部エリアにはホームセンターがないため、京都美術工芸大学の学生が制作材料を買うのに困っている。	1	B	
300	車で買いに行くことができるスーパーマーケットが近くにない。	1	B	
301	公共による基盤整備が必要ではないか。	1	C	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策3）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
302	本エリアは、民間主体で開発を進めてほしい。	1	B	<p>推進項目⑦⑭⑲「住宅関連事業の推進と将来活用地の活用」を推進するにあたって、崇仁学区における将来活用地においては、文化芸術と経済、大学、まちづくり、教育、福祉など、様々な分野の融合により、新たな魅力や価値を創出する機能の誘導や、人口減少や少子高齢化にも対応し、地域で暮らす誰もが安心して住み続けられるまちづくりを推進するため、生活を支える商業・医療・福祉・業務などの機能の充実に向けての活用を検討することとしており、その具体化に当たっての参考とさせていただきます。</p> <p>また、推進項目⑳に掲げる「京都駅東部エリアにふさわしい施設の誘導」の具体化に当たっての参考とさせていただきます。</p>
303	崇仁学区の将来活用地を活用して、民間主体の開発により、地域を一変させるまちづくりを進めてほしい。	1	B	
304	障害のある方も含め、市民の活動を支援し、発表する場であるアトリエやギャラリーの開設を検討してほしい。	1	B	
305	施設整備の際には、ベビーカーが入りやすいよう、広いエレベーターを設置してほしい。	1	B	
306	崇仁学区にスーパーマーケットができれば、周辺の学区を含めて利便性が高まる。	2	B	
307	崇仁学区の将来活用地に、まちづくりの担い手の居住を促進するため、「芸術家向け町家型集合住宅」を整備してはどうか。	1	B	
308	京都駅の東側に買い物をする場がもっとあれば良い。	1	B	
309	公園があると良い。	3	B	
310	子どもが遊ぶことができるところが少ない。	1	C	
311	子どもが遊べるような親水空間があったら良い。	1	B	
312	安心して子どもを遊ばせられる場所がない。	1	C	
313	このエリアで雨でも遊べるような、こどもみらい館のような施設があると良い。	1	B	
314	定住する人を増やすには、近くに買い物する場所や病院が必要ではないか。	1	B	
315	住む人にとって快適な環境となるような施設の誘致を検討するべきはないか。	1	B	
316	飲食店、文房具店、居酒屋、テーマパークのように楽しめる場所があると良い。	1	B	
317	中学生でも、誰でも夕方以降も利用できる体育館があると良い。	1	B	
318	京都市立芸大移転予定地の北側は空き地が目立っているが、どのように整備していくのか。	1	B	
319	市営住宅周辺の空き地を活用すべきでないか。	1	B	
320	住みたい人がいてもマンションの値段が上がってしまい、住みたくても住めないまちになるのではないかと懸念している。	1	C	
321	崇仁市営住宅31棟の建替え構想を進めていくことが必要ではないか。	1	C	
322	崇仁市営住宅31棟を建て替え、低層階に商業施設や食堂を併設してはどうか。	1	C	
323	現在の市営住宅に空室が多く、建て替えの必要性がないのであれば、計画を中止してはどうか。	1	C	

IV 将来ビジョンを実現させるための方策（方策3）

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
324	崇仁地区の将来活用地は、具体的な場所を示した方がよいのではないか。	1	C	崇仁学区においては、住宅地区改良事業を実施しておりますが、住宅地区改良事業の用地として取得する際に交付された国庫補助金の返還などの課題があります。そのため、現時点で、将来活用地の具体的な場所を示すことは困難です。
325	京都美術工芸大学には、もっと個性を出してほしい。	1	B	現在、京都美術工芸大学においては、学生が製作した灯籠を高瀬川に設置したり、椅子をホテルに展示するなど、大学と地域、事業者との協働による取組が進められております。今後も、同大学を含め、多様な主体が協働しながら本エリアの活性化に取り組んでまいります。
326	京都美術工芸大学がもっと地域に開かれた大学であってほしい。	1	B	
327	文化芸術を通じて、京都駅東南部エリアと合わせてこのエリア一帯が、訪れたい、住みたいエリアになれば良い。	1	B	隣接する京都駅東南部エリアと本エリアがそれぞれの特色を活かしながら、人の往来や交流も含めた相乗効果を生むことにより、京都駅周辺に「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンを創出してまいります。
328	九条通を常設のアート通、ギャラリー通にして人が集まるようにすれば、防犯上も良いのではないかと。	1	C	京都駅東南部エリアは、平成29年3月に京都駅東南部エリア活性化方針を策定し、本エリアに隣接する立地特性等を踏まえ、エリアのまちづくりに「文化芸術」という新たな視点を取り入れることにより、「新たな価値を生み出す創造・発信拠点」の誘致等に取り組む、若手芸術家をはじめとする若者呼び込み、文化芸術の「創作、発信」を進めるエリアとして位置付け、取組を進めております。本エリアと東南部エリアと連携して取組を進めるに当たっての参考とさせていただきます。
329	京都駅東南部エリアの空き地を使って、京都芸術祭を開催し、芸術家の作品を展示してはどうか。	1	C	

V 構想実現に向けて

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
330	エリアの外にいる方でも、エリアのまちづくりや歴史に深く関わってきた方がたくさんいるので、その方たちにも活性化の取組に参加してもらえるような記載をしてほしい。	1	A	「V 構想実現に向けて」の「1 多様な主体による将来ビジョンの共有」に本エリア内の方に限らず、エリア外の方にも、本エリアの活性化に取り組んでいただけるよう、御意見の趣旨を記載します。
331	本構想の実現に向けて、このエリア周辺にある地域資源と地域との連携をうまく位置付けてほしい。	1	A	
332	将来構想を行政だけでなく、地域や事業者としっかりと共有するようしてほしい。	1	B	構想の実現に向けて、市民、地域、大学、事業者など、様々な、多くの主体が、構想に示されたまちの将来像を共有し、今後、本エリアの周辺も含めて大きく変容するまちの姿をイメージしながら、共に活性化に取り組んでまいります。
333	一度にまちを変えることは難しいので、徐々に変えていったら良いのではないか。	1	B	本エリアの活性化の核となる京都市立芸術大学の移転は構想の期間中に予定されております。移転までの間と移転後のそれぞれの期間において、多様な主体が、連携・協働しながら、できることから、活性化の取組を進めてまいります。
334	地域とともにまちづくりを進めるため、将来構想策定後、学区の総会などで、地域に広く周知してほしい。	1	B	将来構想策定後、地域住民の方をはじめ、幅広く将来構想の周知に取り組んでまいります。
335	「京都駅東部エリア活性化将来構想」をもっとPRすべきでないか。	1	B	
336	京都駅東部エリアは、これまであまりスポットを浴びていない地域なので、今後このエリアにおける活性化に関する取組を周知・徹底してほしい。	1	B	
337	京都駅西部、東南部、東部の各エリア単独ではなく、京都駅周辺エリアの再開発として、東京圏や海外に大きくPRする工夫も必要ではないか。	1	B	京都駅西部、東南部エリアの取組と連携して、京都駅周辺エリアの活性化を推進し、これらの取組を広く発信していくことを今後、検討してまいります。
338	インターネットにおける広報だけでなく、掲示板や口コミでも情報が取れるような広報を考えてほしい。	1	C	
339	下京渉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントなどによるまちづくりにもっと若者を参加させていくことが必要である。	1	B	下京渉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントによるまちづくりに意見を取り入れるよう取り組んでまいります。
340	下京渉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントが中心となって、将来構想を具体化していく必要がある。	1	B	下京渉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントの場を活かしながら、本構想の具体化を検討してまいります。
341	今後、下京渉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントを正式なものとして立ち上げる必要があるのではないか。	1	C	「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」の場において、検討をされるものと考えております。
342	京都駅西部エリアのように、エリアマネジメント組織を新たに立ち上げることはないのか。	1	B	現時点では、新たにエリア全体をマネジメントする組織を設立することは予定しておりませんが、推進する事業内容やテーマに応じて、例えば、下京渉成小学校区の5学区によるエリアマネジメントに他のまちづくり団体の参画を促すなど、推進主体が、緩やかなつながりを持ち、連携・協働することにより、本エリア全体のまちづくりを進めてまいります。

V 構想実現に向けて

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
343	行政の手間やお金をかけずに民間活力により発展していくエリアであることを期待する。	1	B	各方策の推進に当たり、行政のみならず、市民、地域、大学、事業者など、様々な主体が連携して活性化に取り組みます。
344	構想ができてからも、行政にはしっかりと頑張ってもらいたい。	1	B	
345	東山区でも、七条通を軸に、商店街やホテル、寺社など、様々な施設、団体が協力して、活性化に取り組むべきである。	1	B	
346	市民の税金を使うという意識を忘れず、無駄を排してシンプルに取り組を進めてほしい。	1	B	
347	京都市立芸大に在学中の学生にとって、本構想がどのような意味、関係があるのか分からない。	1	B	京都市立芸大の移転は本構想の期間中の平成35年度に予定されておりますが、移転までのプロセスも重要であることから、現在、移転までの期間を有効に活用し、地域の方々との連携の下、様々な活動を行っております。また、本構想においては、若手芸術家、若きクリエイターや伝統工芸の職人などの育成・支援にも取り組むことを掲げています。
348	「構想の実現に向けたプロセス」が、芸術系大学の学生や若手芸術家などが、純粋に芸術活動に取り組むことを支援するのではなく、まちづくりのために芸術活動を支援するように思える。	1	A	「V 構想実現に向けて」の「3 構想実現に向けたプロセス」に御意見の趣旨を記載します。
349	大学や学生がまちづくりの手段となっているのはおかしいのではないかと。	1	A	

その他

	意見概要	意見数	区分	本市の考え方
350	ごみのないきれいなまちであってほしい。	1	D	「京都市美化の推進及び飲料容器に係る資源の有効利用の促進に関する条例」に基づき、まちの美化及び快適な生活環境の保全に取り組んでまいります。
351	崇仁保育所が移転し、民間移管されるが、市営を続けてほしい。	1	D	崇仁保育所の移管先法人の決定に基づき、平成32年4月の民間移管に向けて着実に取り組んでまいります。
352	廃校した学校に喫茶店を誘致し、その収入で、廃校した学校の安全対策をしてはどうか。	1	D	学校跡地活用の制度に則り、地域の意向等にも配慮しながら、活性化に資する活用を検討するうえで、参考にさせていただきます。
353	廃校した学校の利用について、当該学区以外の利用者の拡大を図ってはどうか。	1		
354	町内会の活動がなくなってきているので、廃校をもっと活用したほうが良いのではないか。	1		
355	観光地にふさわしくない銭湯がある。	1	D	本構想を推進するに当たっての参考とさせていただきます。
356	大規模災害の発生を見据え、地域住民はもとより、訪日外国人にも対応した行政主導型の多様な防災拠点を設けてほしい。	1	D	本市では、災害時における対策として、訪日外国人旅行者を含む、観光客等帰宅困難者対策を実施しており、大規模災害に備えた、観光地対策やターミナル対策、事業所対策に取り組んでいます。 京都駅に近接する京都駅東部エリアにつきましても、帰宅困難者用の一時的な待避スペース等の確保に努めてまいります。
357	このエリアでは、安全のため路上喫煙を禁止してほしい。	1	D	「京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例」に基づき、取組を進めるうえで、参考にさせていただきます。
358	このエリアを禁煙にしてほしい。	1	D	